



い 加 こ 加

運動・栄養・休養

二三



維持、ダイエット、心肺機能の向上、気分転換などさまざまな効果があると言われていますが、適切な運動を行うことで「腰痛やひざ痛の予防に効果がある」ことはご存知ですか？

昨年度、集団特定健診・がん検診受診者を対象に、健康意識・行動に関するアンケートを実施しました。このアンケートにおいて、「適切な運動が腰痛やひざ痛予防に効果があること」を、「よく知っている」「知っている」と約9割の人が答えていました。また、年代が高くなるほど「よく知っている」割合が多く、関節の痛みを感じる年代になるほど実感として運動の効果を知るという傾向が見られました。

■ 関節が動く仕組み

骨には筋肉や腱が付着し、骨と骨は関節でつながっています。関節を動かすときには、脳からの指令によって筋肉が収縮し骨を引き寄せるところで曲がります。

■ 関節痛の予防には筋肉の柔らかさ、筋力が大切！

関節の動きには、筋肉が重要な役割を持っています。筋肉が

“運動は、腰痛・膝痛の予防に効果あり！”

■痛みがある場合は、自己判断せず受診しましょう
関節に痛みがある場合、骨や
関節に障害があることも考えら
れます。そのような場合は、自
己判断せず、専門科を受診しま
しょう。
町では運動教室や、様々な運
動サークルがあります。自分に
合った方法を探るためにも、ぜ
ひ活用してみましょう。

今月の担当
伊藤朗一
一坪
祐美

— 分護 · 支援 · 予防 —

わたしたちの国民年金

国民年金保険料が改定されました

平成28年4月分から月々の保険料が16,260円に改定されました。毎月ごとに納付書で支払う場合の支払期限は、納付対象月の翌月末日です。

また、1年度分の保険料を5月2日(月)までに納付書でまとめて支払う(前納)と、195,120円の保険料が191,660円となり、3,460円の割引になります。

納付は忘れずに

国民年金の給付額の2分の1は国（税金）から支払われています。このような公的年金の利点も、保険料を納めず、免除制度も利用していない

場合、将来年金が受け取れないだけでなく、税金に見合う給付も受け取れなくなります。

そのようなことにならないよう、納め忘れのないよう注意しましょう。

保険料を納付した人

年金給付

1/2は保険料から支払われる
1/2は国から支払われる

保険料全額免除の承認を受けた人	
	保険料免除により受給できない
年金給付	免除期間に見合う $1/2$ の年金が国から支払われる

○問合せ 北見年金事務所(☎ 25-9635)
町民課戸籍年金係(☎ 47-2203)



小野 朋之さん
(旭町 50歳)

「こども園の園歌の作曲をした、訓子府中学校長の小野さん。作詞を担当した松岡義和さんとは20数年ぶりに二人で曲を作り上げました。小野さんは「園歌を通して、訓子府町を好きになつてもらいたい」と話していました。「小学、中学、高校と網走市で過ごし、埼玉県の尚美学園大学に進学し音楽を専攻していました。現在は、男声合唱団の指揮やオペレッタ（軽歌劇）の音楽監督など音楽活動をしています。作曲をした経験があり、町からどんどん園の園歌作曲を依頼され、引き受けました」

「こども園には、小さな子どもたちが通います。園歌は、子どもたちがお父さんやお母さんの子守歌の次に耳

にし、覚える歌ではないかと思い、日
常に気軽に口ずさめるような樂し
い感じの曲にしようと思いました」
「作曲するにあたり、町民の方に受
け入れてもらえるのかという不安が
ありました。子どもたちが歌いやすい
ようなりズムにするのが大変で、作曲
している間に何回も最初からやり直
すなど、苦労しましたが、完成後、町
長や子ども園関係者の方に曲そのも
のを気に入つてもらい、安心しまし
た」

「教員という職業は、転勤が多いの
で関わることのできる町で何かやつ
てきたことを残すことが大切だと
思っています。今までいろいろな町と
関わってきましたが、町の開基120
年といつた節目を祝うのは初めてで、
さらに園歌の作曲といった町の歴史
の1ページに携わることができ、とても
光栄に思っています」

「子どもたちには、この園歌を通し
て、訓子府という町を好きになつても
らえたらうれしいですね。子ども園入
園式で初めて園児たちが歌う園歌を
聞くのが楽しみです」

にし、覚える歌ではないかと思い、日
常に気軽に口ずさめるような樂
い感じの曲にしようと思いました」
「作曲するにあたり、町民の方に受
け入れてもらえるのかという不安が
ありました。子どもたちが歌いやすい
ようなりズムにするのが大変で、作曲
している間に何回も最初からやり直
すなど、苦労しましたが、完成後、町
長や子ども園関係者の方に曲そのも
のを気に入つてもらい、安心しまし
た」

「教員という職業は、転勤が多いの
で関わることのできる町で何かやつ
てきたことを残すことが大切だと
思っています。今までいろいろな町と
関わってきましたが、町の開基120
年といった節目を祝うのは初めてで、
さらに園歌の作曲といった町の歴史
の1ページに携わることができ、とても
光栄に思っています」

「子どもたちには、この園歌を通じ
て、訓子府という町を好きになつても
らえたらうれしいですね。こども園入
園式で初めて園児たちが歌う園歌を
聞くのが楽しみです」

くわねつぶ ファン



福田 克嘉さん
(大谷 23歳)

「訓子府町で生まれ育ち、北見の高校、本別町の北海道立農業大学校を卒業後、実家で農業の仕事をしています。早く立派な農業経営者になつて、親に樂をさせてあげたいですね」

「2月に産業後継者国内研修で九州に行つてきました。初めて北海道以外の生産者の方と話をして、いろいろな技術を学ぶことができたので、これから生かして働きたいと思います」

「趣味は、小学生のころから続けているスノーボードをすることですが、週1回網走市でインストラクターとして小学生に教えています。休みがあれば、スノーボードをするくらいい好きですね」